

凍霜害防止対策月間中

令和7年3月10日(月)から令和7年5月20日(火)まで

果樹(りんご、なし)の生育が早まっています！



りんごの雌しべの褐変



なしの雌しべの褐変



なし果実のさび

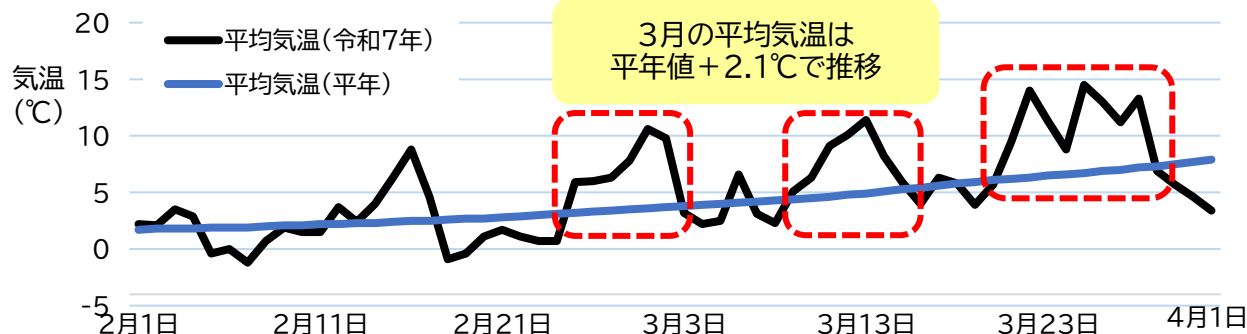


図 2月1日から4月1日の平均気温の推移(アメダス地点:仙台市)

4月3日に気象庁が発表した予測資料(仙台地点)によると、向こう1か月の気温が高くなる見込みです(平均気温平年差+1.1℃以上)。

開花が平年より5日程度早まることが予想されます。
凍霜害の発生に注意しましょう。

りんご及びなしにおける生育ステージの実測値及び予測値(宮城県農業・園芸総合研究所(名取市))

樹種・品種	発芽期			開花始期		
	本年実測値	平年値※1	過去最早	本年予測値※2	平年値※1	過去最早
りんご「ふじ」	3月26日	3月30日	3月20日(R5)	4月24日	4月28日	4月12日(R5)
なし「幸水」	3月27日	4月2日	3月21日(R5)	4月19日	4月24日	4月11日(R5)

宮城県農業・園芸総合研究所(名取市)の作況調査樹のデータを基に作成

※1 平年値は、平成8年～令和6年(29年間)の平均値

※2 予測値は、发育速度モデルとアメダス名取の気象データを基に、今後1か月の平均気温が平年より1.1℃高く推移すると想定した場合の予測開花始期(4/3時点)

りんご及びなしのステージ別安全限界温度※

単位:℃

生育ステージ	硬い蕾	膨らんだ蕾	開花直前	満開期	落花直前
りんご	-4.0	-2.5	-2.0	-1.8	-1.8
なし	-2.7	-1.9	-1.9	-1.5	-1.4

注 「令和6年度農作物凍霜害防止技術対策指針」より

※安全限界温度:植物体温が当該温度下に1時間おかれた場合に、被害がわずかでも発生する恐れがある温度

凍霜害防止技術対策を徹底しましょう！



■ 果樹

- (1) 市販の防霜用燃焼資材等を用いる。
- (2) 地表面を敷きわらやもみがらで覆っていると、霜害を受けやすいので霜害危険期間中は敷きわらやもみがらを1か所にかき集めておく。
- (3) 冷気を停滞させないため、暴風網や障害物などは除去しておく。
- (4) 凍霜害の恐れのあるときの点火は、それぞれの危険温度の1℃手前に終わるようにする。点火は園地の周囲から行い、温度変化をみながら火力を調節する。気温は日の出直前に最も下がるので火勢が落ちないようにする。
- (5) 被害を毎年のように受ける常襲地帯では、防霜ファンや開花の遅い品種への更新も有効である。

凍霜害を受けた場合の対策

- (1) 開花直前又は開花中に被害を受けた場合には、残った健全花に人工授粉を徹底し、結実確保に努める。
- (2) 被害を受けた場合は、結実を確認してから摘果する。また、被害を受けた果実はサビ果、奇形果になりやすいので仕上げ摘果は障害がはっきりしてから行う。
- (3) 着果量が少なくなると樹勢が強くなるので、新梢管理を徹底する。

セーフティネットへも加入しましょう！

上記の凍霜害対策に併せ、農業経営収入保険（収入保険）や農業共済などのセーフティネットにも加入し、リスクに備えましょう。

詳しくはこちら
収入保険 →



詳しくはこちら
果樹共済 →



凍霜害防止対策に関する問合せ

宮城県農政部園芸推進課園芸振興班

電話 022-211-2843

宮城県農政部農業振興課普及支援班

電話 022-211-2837

宮城県農業・園芸総合研究所花き・果樹部

電話 022-383-8134

各農業改良普及センター先進技術班

